

初期臨床研修プログラム： 呼吸器内科

コース責任者： 月岡啓輔 指導医・上級医： 外山譲二、月岡啓輔、竹内寛之
コースの位置づけ：必修科として、1～2ヶ月、選択科として1ヶ月から-

I 一般目標 (GIO : General Instructional Objective)

内科疾患（一般、呼吸器分野）の基本的な診断・治療の技術の習得
チーム医療の実践

II 行動目標 (SBOs : Specific Behavioral Objectives)

医療面接、身体診察の基本を習得し、他の医療スタッフと連携して診療にあたることができる。

臨床検査（血液・尿検査・呼吸機能・細菌学的検査・病理検査等）の結果を解釈できる。

胸部画像診断の基本を習得できる。

胸腔穿刺・ドレナージ、気管支鏡、気管内挿管・人工呼吸器管理の適応を判断でき、上級医のもとで実践できる。

内科疾患（一般、呼吸器分野）の具体的な治療方針の立案と実践ができる。

抗菌薬の適正使用ができる。

肺癌診療を通して化学療法の基本を理解し、緩和ケアを実践できる。

診療録、診断書を適切に記載できる。

III 学習方略 (LS : Learning Strategy)

必須事項：咳嗽、痰、呼吸困難、胸痛、熱を訴える症例を経験する。肺炎、気管支喘息、COPD、間質性肺炎、肺癌、胸痛、胸膜炎の症例を検討する。

病棟診療：内科（一般、呼吸器分野）入院患者の診療に携わる。検査指示、処方、点滴指示などを習得する。

業務：気管支鏡検査（火、木曜日）に参加する。

検討会：毎週水曜日の症例検討会で担当患者を提示し、方針や問題点の検討を行う。

IV 学習評価 (Ev : Evaluation)

知識：症例提示、レポート

技能：診察手技、技術等に関して観察記録、スケールで評価；指導医

態度：観察記録評価；指導医、他の医療スタッフ

*当科でのレポート作成が適している項目：呼吸器症状を有する症例、呼吸器感染症、肺癌

補足：

呼吸器内科研修における週間予定

曜日	午前	午後
月	病棟回診	病棟回診/病棟カンファレンス
火	気管支鏡	病棟回診
水	病棟回診	病棟回診/病棟カンファレンス
木	気管支鏡	病棟回診/病棟カンファレンス
金	病棟回診	病棟回診